

2016年度調査： 医療分野におけるモビリティの現状

はじめに

医療分野におけるモバイルのトレンド

- ・ 医療分野におけるモビリティ
- ・ モバイルソリューション導入への最大の動機
- ・ モビリティが患者体験に与える影響
- ・ オペレーティングシステムの優先傾向
- ・ モバイルデバイス管理時の三大懸念

医療機関におけるモバイルデバイス管理

- ・ モバイルデバイス管理ソリューションの実装
- ・ MDMを実装した場合の利点

デバイス管理によるリスク軽減

- ・ IT関連の支出
- ・ 規制順守力
- ・ アプリのインベントリ
- ・ アプリの管理

まとめ

はじめに

医療分野の状況は変化を続けています。医療機関は、治療チーム内での連絡の改善を重ねながら、患者一人一人に合ったケアをより手早く提供する方法を模索しています。モビリティ(可動性)、特にモバイルデバイスにより、患者のケアが次第に形を変えています。

しかしながら、医療機関へのモバイルデバイスの導入には課題があります。具体的には、データのプライバシー保護やネットワークの安全確保などです。組織は、適切なテクノロジーを導入し、適切なモバイルデバイス管理ソリューションと併用することで、セキュリティリスクを軽減すると同時に、従業員と患者に対して適切なアクセスと機能性を確実に提供できます。

モバイルデバイス管理とは何か

モバイルデバイス管理(MDM)とは、モバイルデバイスを管理するための枠組みです。医療機関がデバイスの効果的な管理とコンプライアンスの確保を実現するためには、MDMソリューションは必須です。新しいデバイスの導入とインベントリの収集から、設定、アプリ管理、データのワイピングに至るまで、MDMは、大規模導入に取り組みデバイスの安全を確保するための完璧なツールセットを提供します。

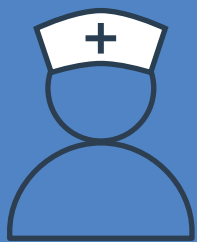
はじめに

エグゼクティブ・サマリー

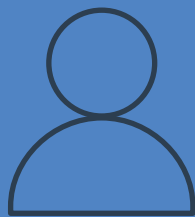
独立機関が実施した新しいグローバルリサーチによると、モバイルデバイス管理を実施している医療機関が最も懸念していることはセキュリティです。アメリカ、オーストラリア、フランス、ドイツ、イギリスで550人のIT意思決定者を対象に行われた調査では、4人に1人が、現在使用しているMDMソリューションでは自信が持てないと答えています。調査を受けた公営と民営の医療機関は、その規模が従業員数100名未満から2000名以上までと幅広いにもかかわらず、その大半が、セキュリティとデータプライバシー、従業員による不正使用に関して同一の重大な懸念を抱えていました。

医療分野におけるモバイルのトレンド

医療分野におけるモビリティ



83%

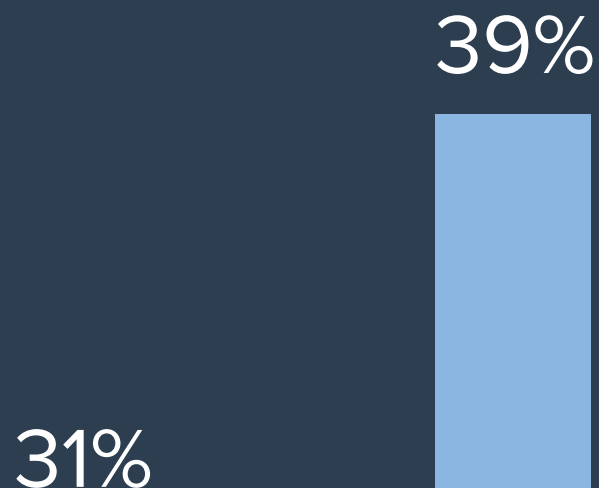


45%

今では、モバイルデバイスは医療業界で常識となっています。調査を受けた人の83%が、医療組織が介護者にスマートフォンやタブレットを支給しており、非医療従事者の45%にもモバイルデバイスが支給されていると答えています。

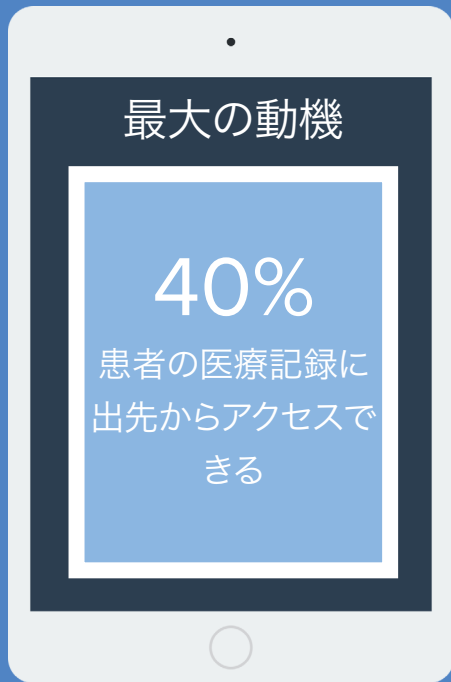
患者に関しては、31%の患者に現在モバイルデバイスを支給されており、これからの2年で39%までの急激な増加が予想されると答えています。

モバイルデバイスにアクセスする患者数の増加が期待される



2016

2018



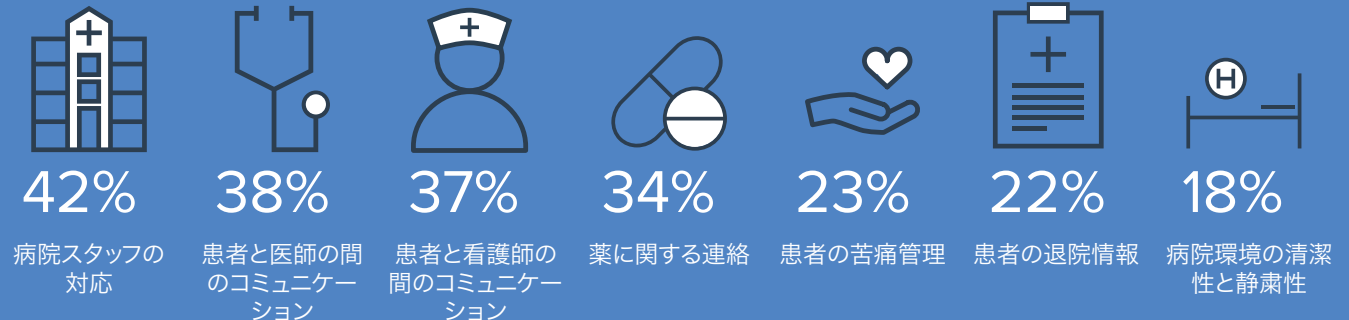
モバイルソリューション導入への最大の動機

モバイルソリューションをすでに導入している、または導入を検討している組織のうちの40%が、導入または検討の主な理由として、スタッフが移動中に患者の医療記録にアクセスできるようにすることであると答えました。

- 40% 移動中に患者の医療記録にアクセスできる
- 18% 遠隔操作で予約のスケジュールを調整できる
- 17% 出先から同僚と連絡を取れる
- 11% 患者記録を簡単に更新できる
- 9% 患者とすばやくリソースを共有できる
- 5% 組織のデバイスを使って高いセキュリティレベルを確保できる

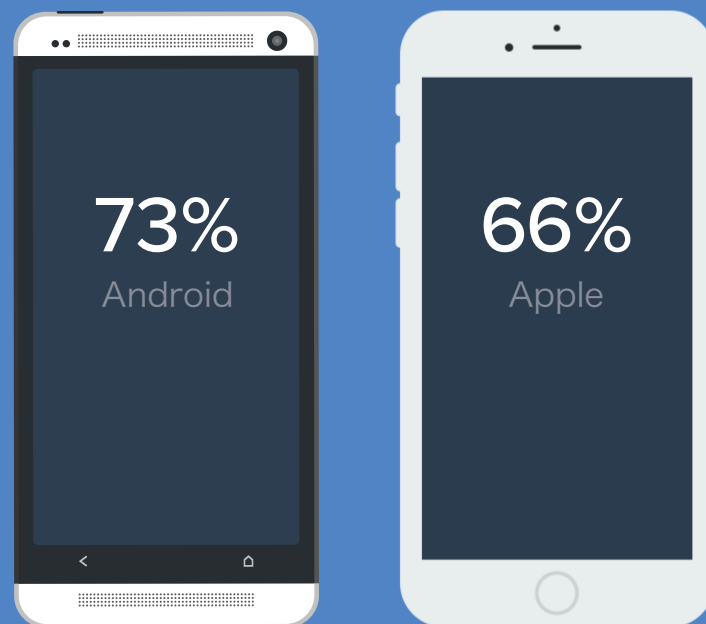
医療分野で実感できるモビリティの利点

モバイル戦略を実施すれば、患者満足度調査HCAHPS (Hospital Consumer Assessment of Healthcare Providers and Systems: 病院利用者による医療機関および医療システムの評価) により決定される医療組織の患者満足度スコアを直接的に改善できます。



モバイルデバイス管理時の三大懸念

医療分野におけるモバイル管理には課題があります。調査対象者の大多数が懸念の1位としてモバイルデバイスのセキュリティを挙げており、データのプライバシーが僅差で2位に挙げられています。モバイルデバイスを管理する上で医療機関の間で挙げられている三大懸念の最後は、従業員による不正使用でした。



オペレーティングシステムのサポート

さまざまなオペレーティングシステム(OP)がサポートされていますが、公営と民営の両方の医療機関の調査対象者は、モバイルデバイスの主要OSとしてAndroidとiOSを挙げています。大多数の医療組織でも複数のOSが使用されています。

医療機関におけるモバイルデバイス管理

「医療業界は変革の時期を迎えており、モバイルデバイスはその変革の実現手段となっています。モバイルデバイスを通じて、医療組織はコミュニケーションを効率化し、患者達が自分の医療体験に関われるようにし、最終的にはより良い総合体験を作り上げることができます。

経費の増大を抑えて、患者データの安全と厳しい規制の順守の確保に取り組むことができれば、モバイルデバイス戦略は現実のものとなります。モバイルデバイス管理テクノロジーを導入しましょう。モバイルデバイスを堅牢なモバイルデバイス管理テクノロジーと組み合わせることで、医療組織はデバイスの導入と管理とワイピングを、常に効果的かつ安全に実行できます。」

UC San Diego Health の Appleインフラストラクチャアーキテクト Eric Boydさん

モバイルデバイス管理ソリューションの実装

MDMソリューションの所有者とは？ほぼすべての医療機関です。医療組織の86%がモバイルデバイス管理プラットフォームを構築していますが、うち27%は各自のソリューションに対して完全には自信を持っていません。



86 % モバイルデバイス管理を行っている

27 % ソリューションに自信が持てない

MDMを実装した場合の利点

医療機関は、信頼性の高いMDMソリューションとともにモバイルデバイスを使用することで、時間の節約、生産性の向上、デバイスの安全確保、コストの節約を期待できます。



80%
時間の節約



79%
より良い生産性



71%
セキュリティ



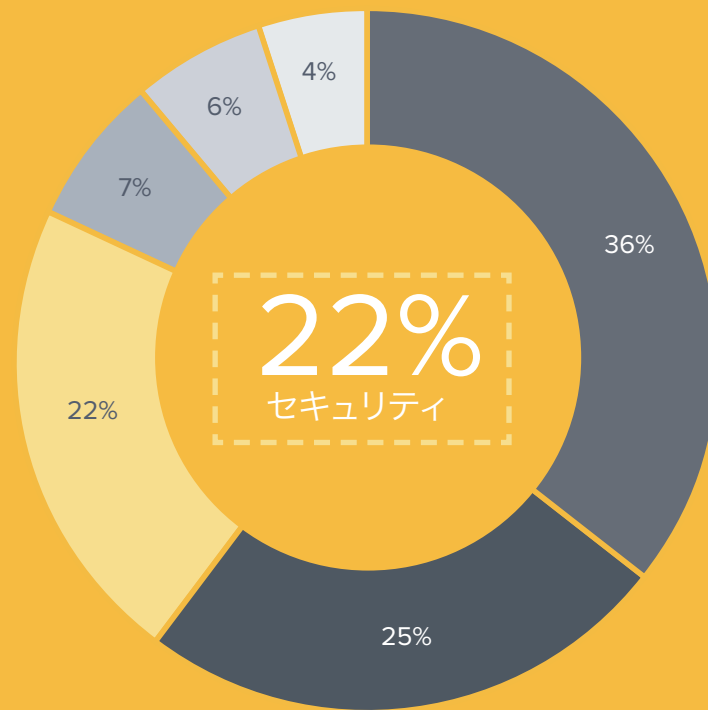
70%
お金の節約

デバイス管理によるリスク軽減

IT関連の支出

医療機関はITのどの部分にお金をかけているのでしょうか？それは予想通り、ハードウェアやソフトウェアおよびサポートが二大支出であり、モバイルデバイス利用時の最大の課題であるセキュリティは三番目でした。

- 36% ハードウェアやソフトウェアの購入
- 25% ITサポート
- 22% セキュリティ
- 7% データネットワーク
- 6% トレーニング
- 4% デジタル変換



46%

組織の46%が、移り変わる医療規制にすばやく順応できたとは言い切れないと答えています。

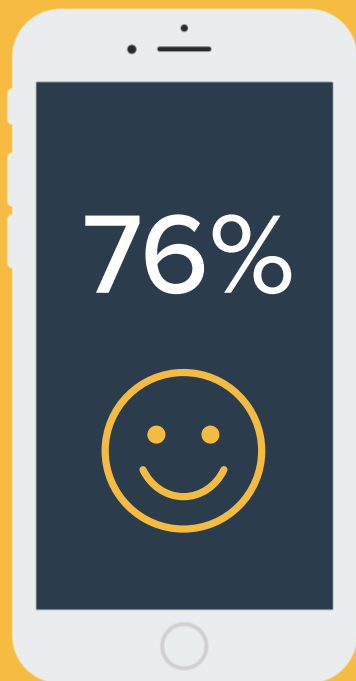


規制順守力

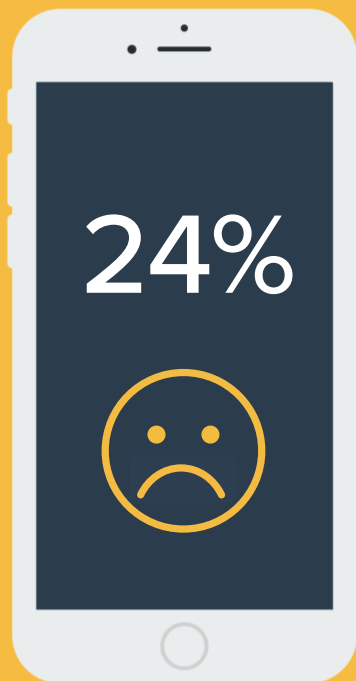
医療組織は、世界中のどこに位置しているかに関係なく、現地の規制を順守する能力を備えていることは必須です。調査を受けた組織の大半が、HIPAAやEUデータ保護規制などの患者データ規制をほぼ順守できていると答えたのに対し、その半数近くが、規制の変更時にすばやく順応できる能力があるとは言い切れないと答えています。

アプリのインベントリ

アプリはモバイルの生産性を高めるものですが、同時にモバイルのリスクに影響をあたえるものでもあります。回答者の4分の1近くが、ネットワークで使用しているアプリに対して完全な透明性を維持できているとは言い切れないと答えています。



使用しているアプリの完全な透明性を維持できている



使用しているアプリの透明性を完全には維持できていない

アプリ管理

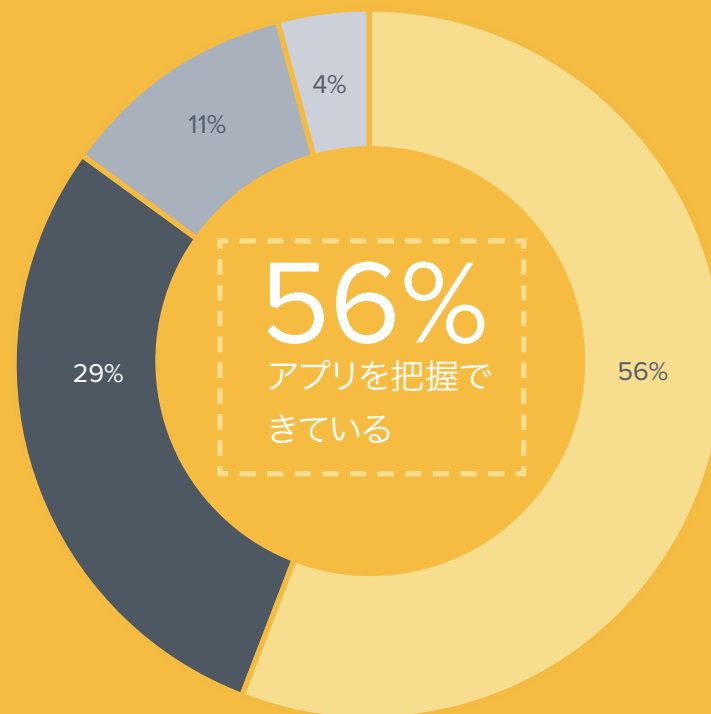
さらに、自己のネットワークにインストールされているアプリを把握できている医療組織はわずか56%でした。

56% はい。ダウンロードされているアプリを完全に把握できています。

29% ダウンロードされているアプリを多少把握できています。

11% いいえ。ダウンロードされているアプリを完全に把握できていません。

4% 個人がダウンロードしているアプリを把握することには関心がありません。



まとめ

モバイルデバイスの安全の維持に関する懸念は現実の問題であり、蔓延しています。しかし、堅牢なMDMソリューションこそが、医療機関のネットワークや患者データの安全確保、さらには厳しいコンプライアンス規制の順守に対する答えなのです。

医療機関はMDMを通じて次のことを実行できます。



適切な設定とアプリにより、デバイスのセットアップと導入と積極的管理を自動で実行できます。



パスワードやVPNなどのセキュリティポリシーを常に強化できます。



退院時またはデバイス紛失時にデバイスのロックとワイピングを遠隔操作で実行できます。



ITポリシーのステータスを監視でき、規制違反時には警告通知を受け取ることができます。

企業での私用にはiOSがベストチョイスである理由

MDMソリューションは、備わっている機能とさまざまなモバイルOSへの対応力により、用途が多彩です。JamfはiOS MDMに特化しており、iOS MDMは医療には最適のソリューションであると確信しています。



iOSは、MDMのために最も拡張性の高いフレームワークを提供でき、独自のゼロタッチ導入法、さらにはアプリ一括配信モデルを備えています。



iOSは、アプリ・サービス・サポートに対するApple独自のエコシステムの一部であり、他のメーカーよりもシームレスで完璧なソリューションを提供します。



iOSには、企業向けアプリのための最も堅牢なサード・パーティー開発者コミュニティがあります。



iOSは最高のハードウェア品質を誇り、多くの場合は、他のデバイスを圧倒し、残余価値を維持しています。



iOSデバイスは、競合するOSよりも脆弱性が低く安全性が高いプラットフォームを備えています。



医療分野におけるiOS向けMDM

Jamf Proは一流のAppleモバイルデバイス管理ツールです。組織用にAppleのパワーを解除するように設計されており、Jamf Proによってユーザーは、デバイスの設定と導入と管理を簡単かつ安全に実行できます。

詳細